

【保育所版】 秋田県福祉サービス第三者評価 評価結果票

評価実施基準日	平成 20 年 12 月 2 日
評価確定公表日	平成 21 年 2 月 24 日
評価情報更新日	平成 年 月 日

◆ 評価を実施した機関

名称	(社会福祉法人) 秋田県社会福祉協議会
所在地	(〒 010 - 0922) 秋田市旭北栄町1番5号
TEL	(018) 864 - 2740
FAX	(018) 864 - 2742
E-mail	hyoka@akitakenshakyō.or.jp
ホームページURL	http://www.aakitakenshakyō.or.jp

◆ 評価を受審した事業者

フリガナ 法人名称	(社会福祉法人) ゴジョウメ ホイク エン 五城目保育園
法人 所在地	(〒 018 - 1703) 五城目町字羽黒前76-1
TEL	(018) 852 - 3805
FAX	(018) 852 - 3824
法人代表者	理事長 原田 啓蔵
フリガナ 事業所名	ゴジョウメ ホイク エン 五城目保育園
サービス種別	保育所
管理者名	園長 鈴木 進
開設年月日	昭和 47 年 4 月 1 日 定員数 150 名
TEL	(018) 852 - 3805
FAX	(018) 852 - 3824
E-mail	goho@silk.plala.or.jp
ホームページURL	

◆ 評価の総評 (優れている点、改善を求められる点)

Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織
<p>保育所運営の根幹をなす保育理念としては趣旨を読み取りにくく、理念に沿った基本方針についても一貫性がないため、法人理念→保育理念→基本方針→保育目標→保育計画→指導計画の関係を理解し、新たな視点から理念及び方針を見直し、保護者にも分かりやすい明示方法を検討することが望まれる。</p> <p>また、「5ヶ年計画」を策定して今後の課題等を明らかにしているが、中・長期計画及びそれを反映した単年度事業計画の策定や見直しに関して職員が参画することが求められるため、組織全体で取り組むための仕組みづくりが望まれる。</p> <p>経営状況の分析や理事長、園長、事務長による三者会議、主任保育士を交えた七者会議で質の向上及び業務改善に向けて検討しているが、記録の不備をなくし、組織的に確実な記録に残す仕組みづくりに期待したい。</p>
Ⅱ 組織の運営管理
<p>積極的に第三者評価を受審し、認可保育園ならではの良質な保育サービスの提供に意欲的で、評価票による人事考課や職員教育・研修にも力を入れている。</p> <p>また、各種マニュアルをまとめた「事故対応の手引き」を整備し、感染症や事故発生時における適切な対応方法を全職員に周知・徹底している。</p> <p>さらには、広報誌を全戸に配布して子育て支援に関する情報提供に努め、地域ニーズに基づき園独自で一時保育や障害児保育を実施し、園の役割・機能を地域に還元している。</p> <p>今後は、人事考課基準の見直しや職員の資質向上に向けた組織的な体制づくりに努め、簡潔明瞭かつ即応性に配慮したマニュアルの整備など、職員参画のもとで取り組むことを期待したい。</p>
Ⅲ 適切な福祉サービスの実施
<p>苦情解決委員会設置など苦情等への対応を保護者に周知し、子どもを尊重する姿勢やプライバシーの配慮について職員間で共通認識を図っている。</p> <p>また、保育サービスの標準化に向けて実施方法を検証し、課題に対しては改善策を検討して計画や保育内容に反映させている。</p> <p>サービス開始時には入園のしおりなどで詳しく説明し、入園前や入園後の情報収集や保護者の意向により指導計画をたて、課題に対しては職員間で検討しながら個別に対応している。</p> <p>今後は、全体的に記録の不備が目立つため、職員会議など各種記録の徹底を図るとともに、保護者の潜在的な意向の把握や個人情報保護法規程の策定、保育サービスを定期的に見直す仕組みづくりなど組織的に検討しながら改善につなげてほしい。</p>
A 子どもの発達援助、子育て支援、安全・事故防止
<p>園舎改築から5年目を迎え、園全体が明るく清潔感が溢れ、木のぬくもりを感じる平屋園舎と自然に恵まれた環境のなか、子どもたちは活気があり、ゆったりとした生活を楽しんでおり、子どもの健全な心身の発達を図るうえでの環境が整っている。</p> <p>食事は子どもの好き嫌いやアレルギー、保護者の意向などを踏まえて献立を作成し、自分たちで育てた野菜を使用した、屋外での「だまご鍋」やパイキングなど食事にも変化を持たせており、栄養バランスにも配慮しながら苦手なものを美味しく食べられるよう調理方法を工夫している。</p> <p>また、地域の高齢者福祉施設への訪問や朝市の見学、電車を利用しての遠足など、目的に沿った社会見学により子どもの視野を広げ、貴重な体験の機会を取り入れている。</p> <p>さらには、園長及び職員の子どもや保護者への接し方が心地よく、乳児への言葉かけも穏やかで、おむつ交換の仕草も家庭的であるなど保育姿勢がとても良いことから、今後も継続した関わりを期待したい。</p> <p>なお、防犯カメラを設置して不審者の発見と事故防止に取り組んでいるが、「事故防止の手引き」にある安全チェックリストを有効に活用することで、より安全・安心な保育環境づくりに努めてほしい。</p>
※ その他、特記事項
<p>町の計画により園舎が改築され、幼稚園と保育園が同居している珍しい環境にあり、当初の目標を踏まえ「幼保一体」の効果が現われる時期であることから、今後の取り組みと働きかけに期待したい。</p>

◆ 細目の評価結果（基本評価55項目）

項 目	評価結果	優れている点・改善を求められる点	評価結果に対する事業者からの意見
I 福祉サービスの基本方針と組織			
1 理念・基本方針			
(1) 理念、基本方針が確立されている。			
①理念が明文化されている。	b	保育理念を事業計画の保育計画欄に記載し、考え方も概ね理解できるが、保育所運営の根幹をなす理念としては読み取りにくいいため、その内容を趣旨に基づいて簡潔にまとめることが望まれる。 また、法人と保育の理念及び基本方針を整理し、分かりやすい明示方法についても検討してほしい。	再度整理し、簡潔にまとめ、分かりやすい表現で理念を明示したい。
②理念に基づく基本方針が明文化されている。	b	経営計画及び事業計画に基本方針を記載しているが、保育理念に沿った基本方針としては一貫性がないため、理念に基づいて具現化し、上記同様に明示方法も検討してほしい。	上記同様、整理したうえで具体化したい。
(2) 理念や基本方針が周知されている。			
①理念や基本方針が職員に周知されている。	b	事業計画を職員に配布し、職員会議で周知しているが記録が不十分であり、園内の掲示も含めて理解を促す取り組みが十分ではないため、明確な議事録の作成とともに職員への周知方法の工夫が望まれる。	改めて理念や基本方針を作成する中で、職員会議等にてさらに周知を図っていききたい。 また、記録については確実に残していくような体制づくりを検討していききたい。
②理念や基本方針が利用者等に周知されている。	b	理念や基本方針を記載した広報紙を全戸に配布しているが、広報紙からは理念及び基本方針は読み取れないため、園内への掲示や入園案内への記載、ホームページ活用や保護者会を通じてなど周知方法の工夫が望まれる。	広報や掲示等の様々な方法を活用し、保護者等への周知を図っていききたい。

項 目	評価結果	優れている点・改善を求められる点	評価結果に対する事業者からの意見
2 計画の策定			
(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。			
①中・長期計画が策定されている。	a	平成20年度までの財務健全化「5ヶ年計画」を策定しており、園児数の推移に伴う職員体制や人事管理、幼保一元化など課題を明らかにしている。 なお、数値的な根拠と課題に対するビジョンを明確にし、行政とも協議しながら理念及び基本方針を具体化するための平成21年度以降の計画策定が望まれる。	保育所の再編成など、行政上の様々な新たな課題も出てきているので法人としての中・長期計画の作成の必要性を感じる。 今後、行政の中・長期計画にも留意しながら21年度以降の計画に取り組みたい。
②中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	c	「5ヶ年計画」の内容と各年度の事業計画が連動していないため、制度や保育園を取り巻く情勢の変化に対応して計画を見直し、各年度の計画に反映させることが求められる。	中・長期計画の見直しがなかったため、単年度の事業計画と連動しなくなったと思う。適宜見直していくことが重要と思っている。
(2) 計画が適切に策定されている。			
①計画の策定が組織的に行われている。	c	事業計画は事務長や園長など管理者のみで作成しており、組織的に職員の意見を反映させる機会がないため、各計画の策定にあたり委員会を設置するなど職員の参画を得ながら作成することが望まれる。	様々な方法で職員の参画を実現し、組織的に職員の意見を反映させる方法を確立したい。
②計画が職員や利用者に周知されている。	b	職員には年度初めに事業計画を配布し、職員会議で説明しているが、保護者へは周知していない。 また、職員会議の記録が不十分であるため、各種記録の徹底とともに、保護者への周知と職員の理解を促すための工夫が望まれる。	年間行事については、入園時や保護者会総会にて保護者にも配付しているが、それ以外の計画の周知については未だ不足しているようだ。 各種記録についてはぜひ徹底していきたい。

項 目	評価結果	優れている点・改善を求められる点	評価結果に対する事業者からの意見
3 管理者の責任とリーダーシップ			
(1) 管理者の責任が明確にされている。			
①管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	b	理事長が年度初めに全体会議を開催しているほか、園長は毎月の職員会議や保育研修会等に参加し、職員の意見集約や資質向上に努めている。 なお、全体会議等の記録が不十分であるため、記録の徹底と明確化が望まれる。	全般的に記録が不十分なので見直しを行い、システムとして記録できるような方法がないか検討したい。
②遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	b	園長は勉強会などで法令等を理解し、必要に応じて職員への周知にも努めているが、関係法令等をリスト化して整理し、理解しやすいよう工夫することが望まれる。	関係法令等の整理を行い、リスト化により理解を深めたい。
(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。			
①質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	b	積極的に第三者評価を受審するなど質の向上に意欲的で、保育サービスに関する評価・分析を行いサービスの向上に努めているほか、幼保一元化などの課題を明らかにして改善策を検討している。 なお、評価・分析に関する記録が不十分のため、記録の徹底が求められる。	記録については総合的に改善していきたい。
②経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	b	業務改善に向けて理事長、園長、事務長による三者会議や主任保育士を交えた七者会議を開催しているが、検討事項など取り組み状況の記録が不十分であるため、検討内容や経過などの記録の徹底が求められる。	記録については総合的に改善していきたい。

項 目	評価結果	優れている点・改善を求められる点	評価結果に対する事業者からの意見
II 組織の運営管理			
1 経営状況の把握			
(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。			
①事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	b	地域ニーズや各種データは行政から収集しているが十分ではないため、保護者の意向も含めて定期的に把握し、それらを基に整理、分析しながら、中・長期計画や事業計画に反映させることが望まれる。	定期的にアンケート調査などをして、長期計画や事業計画に反映していきたい。
②経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取り組みを行っている。	c	理事長及び園長が決算の分析を行っているが、職員の意見を得るなど組織的に検討する仕組みがない。 今後は、職員が参画して経営状況を分析し、認定子ども園を見据えた幼稚園との連携・関わりを検討するなど組織的に取り組むことが望まれる。	経営状況の分析については、組織的な検討をどのようにしたら効果的なのか、職員の参画をどのように図れば効果的なのか再検討したい。
③外部監査が実施されている。	c	外部監査は実施しておらず、今後の実施も未定であるため、第三者評価の受審と同様に前向きに捉え、積極的に透明性の確保に努めてほしい。	今後検討したい。
2 人材の確保・養成			
(1) 人事管理の体制が整備されている。			
①必要な人材に関する具体的なプランが確率されている。	c	「5ヶ年計画」には園児数の推移に合わせて必要な職員数を示しているが、現状に合わせた具体的な計画や考え方はない。 今後は、基本方針及び各計画の実現に向けて、人材確保に関する具体的な方針を策定し、それに基づいて適切な人事管理を行うことが望まれる。	中・長期計画を作成する中で、人材確保に関する具体的な方策も考えていきたい。

項 目	評価結果	優れている点・改善を求められる点	評価結果に対する事業者からの意見
②人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	b	人事考課に関する評価票はあるが、人事考課基準を含めてシステムとしては不十分であるため、職員の理解を得ながら基本から再検討することが望まれる。	人事考課については、システムとして十分機能させ、より効果的なものになるよう再検討し、改善を図りたい。
(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。			
①職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	b	就業状況の実態を把握し、必要に応じて職員と話し合っているが、組織として改善につなげるための仕組みづくりが望まれる。	組織として改善を図る仕組みづくりを構築するよう見直してみたい。
②福利厚生事業に積極的に取り組んでいる。	a	福利協会及び福利厚生センターに加入し、職員の福利厚生と処遇の充実に努めている。	引き続き福利厚生と処遇の充実に努めたい。
(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。			
①職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	c	職員の研修受講や資質向上に関する考え方はあるが、それを具体化した基本姿勢を明示したものはない。 今後は、職員の資質向上に向けた組織としての考え方や目標を基本姿勢として明示することが望まれる。	今後、組織的な研修計画を構築したい。
②個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。	c	職員一人ひとりの研修計画が策定されていないため、基本姿勢に沿って経験や職種、希望や目標、研修課題を把握したうえで個別の研修計画を作成し、段階的かつ計画的に質の向上につなげられるよう組織的な体制を整備することが望まれる。	研修委員会を設置するなど、組織的な体制を整備し、個別の職員の研修課題に沿った計画を立てていきたい。

項 目	評価結果	優れている点・改善を求められる点	評価結果に対する事業者からの意見
③定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	b	研修参加者は復命書で報告し、職員会議や保育研修会で研修成果を共有している。 なお、復命時に研修の評価を行っているが、それを研修計画に反映し、定期的に見直す仕組みづくりが望まれる。	前項までと併せて研修に対する評価も行い、定期的な研修計画の見直しができるようにしたい。
(4) 実習生の受け入れが適切に行われている。			
①実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	c	実習生受け入れに関するマニュアルはなく、指定されたクラス担任が実習生と面談のうえ実習プログラムを作成しており、基本的な姿勢は明示していない。 今後は、関係者の意見を取り入れながらマニュアルを作成し、職員間で共通認識を図るなど受け入れ体制の整備が望まれる。	短大などの意向も踏まえながら、受け入れに関するマニュアルを作成したい。
②実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。	c	基本的なプログラムはなく養成校の意向に沿って対応しているため、養成校と連携して実習プログラムを作成し、実習指導者も養成するなど、効果的な実習とするための工夫や取り組み方法の検討が望まれる。	実習生自体は積極的に受け入れているが、効果的な実習とするための方法等を再度見直していきたい。
3 安全管理			
(1) 利用者の安全を確保するための取り組みが行われている。			
①緊急時（事故、感染症の発生時など）の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。	b	「事故対応の手引き」を作成し、感染症や事故対応、不審者対策などのマニュアルを一冊にまとめているが、記載内容が事務的で即応性に欠けるため、簡潔明瞭にフロー図などで示し、目で見て理解できるよう見直しが求められる。	フロー図やチャート式にするなど、緊急時にもすぐ見て分かるような工夫をしたい。

項 目	評価結果	優れている点・改善を求められる点	評価結果に対する事業者からの意見
②利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	b	ヒヤリハットにより事例を把握しているが、その要因を分析して改善につなげるには至っていない。 また、「事故対応の手引き」に安全チェックリストがあるが活用されていないため、ヒヤリハットやチェックリストの活用により安全・安心の確保に努めてほしい。	定期的に「安全チェックリスト」による点検などもぜひ実施していきたい。
4 地域との交流と連携			
(1) 地域との関係が適切に確保されている。			
①利用者と地域との関わりを大切にしている。	b	地域の福祉施設での世代間交流のほか、朝市や消防署等で地域住民との交流を図っている。 また、地域の行事等を掲示板に掲示して交流を促しているが、十分な効果が得られていないため、園の役割や地域との関わり的重要性を職員に再度周知し、積極的な交流促進につなげてほしい。	今後も地域との様々な交流をしていく予定であるが、より計画的で実効性のあるものにしていく必要があると思う。
②事業所が有する機能を地域に還元している。	a	毎月発行する町の広報紙に園の情報欄を設け、子育て相談などの子育て支援に関する情報を掲載しているほか、講演会への参加を呼びかけるなど地域に還元している。	今後も様々な情報を提供していきたい。
③ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	c	ボランティア受け入れマニュアルや受け入れに関する意義や方針を明文化したものが無いため、趣旨を踏まえたマニュアルの作成とともに、職員間で共通認識を図ることが望まれる。	受け入れないということではないが、具体的にボランティアの方々に何をお願いできるのか、などについても十分に検討したうえでマニュアルなどの整備をしていきたい。
(2) 関係機関との連携が確保されている。			
①必要な社会資源を明確にしている。	b	関係機関一覧表を事務室や保育室に掲示し、常に確認することができるが、必要な社会資源の全てが網羅されていないため、関係機関や団体にも働きかけながら内容の充実について検討することが望まれる。	ぜひ内容を見直しもっと充実させたい。

項 目	評価結果	優れている点・改善を求められる点	評価結果に対する事業者からの意見
②関係機関等との連携が適切に行われている。	b	行政をはじめ関係機関や団体との連携や活動を働きかけているが、不足している民生児童委員との交流やケース検討会を開催するなど、地域の関係機関や団体との連携を図っていくことが望まれる。	民生児童委員や地域の関係団体とも今後は連携を図るようにしていきたい。
(3) 地域の福祉向上のための取り組みを行っている。			
①地域の福祉ニーズを把握している。	b	町の広報紙を活用し、子育て支援に関する情報提供や子育てニーズの把握に努めているが、社会福祉協議会や民生児童委員などと連携しながら情報把握に努め、積極的に取り組むことが望まれる。	連携を図る中で情報収集をしていきたい。
②地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。	a	町の地域ニーズに基づき、障害児保育や一時保育を自主的に実施しているほか、隣接する幼稚園と合同で避難訓練を実施している。今後は、地域の子育てニーズに基づいた積極的な事業・活動展開を期待したい。	情報収集して地域のニーズを把握し、必要な事業や活動を再検討していきたい。
Ⅲ 適切な福祉サービスの実施			
1 利用者本位の福祉サービス			
(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。			
①利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取り組みを行っている。	a	子ども一人ひとりを尊重する保育理念及び基本方針に基づき保育計画を作成し、保育研修会などで指導計画を定期的に評価・見直している。	引き続き、利用者を尊重したサービス提供を行っていきたい。
②利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	c	プライバシーへの配慮は職員間で共通認識を図っているが、マニュアルや規程等を整備していないため、現在の考え方を具体化したマニュアル等の整備が望まれる。	マニュアルの作成や規程等の整備を検討したい。

項 目	評価結果	優れている点・改善を求められる点	評価結果に対する事業者からの意見
(2) 利用者満足の上昇に努めている。			
①利用者満足の上昇を意図した仕組みを整備している。	C	年度初めと年度末に保護者会を開催し、クラス懇談会などでも保護者の意向を把握しているが、記録が不十分である。 また、法人・園として保護者の意向に配慮するための姿勢を明示するとともに、具体的な仕組みの整備が望まれる。	従来どおり、様々な機会をとらえ保護者の意向に配慮し、アンケートなどによる意向調査なども計画したい。 記録については十分に注意をしていきたい。
②利用者満足の上昇に向けた取り組みを行っている。	C	保護者の要望等には可能な範囲で対応しているが、記録が不十分である。 また、把握した要望を活用するための組織的な仕組みの整備が望まれる。	記録については総合的に改善してくとともに、保護者の様々な要望については活用するための組織的な仕組みを検討したい。
(3) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。			
①利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	b	保護者との相談や面談をする場合は、その方法を保育室の前に掲示して連絡している。 また、保護者からは連絡帳を通じて意見を述べやすい環境にあるが、意見箱の設置などさらなる環境の整備に期待したい。	意見箱の設置など、さらに意見等を述べやすい環境の整備を図りたい。
②苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	b	苦情解決委員会を設置して苦情解決の仕組みを整備しており、保護者にも周知しているほか、園内に説明資料も掲示しているが記録が不十分である。 今後は、保護者が苦情や意見を述べやすい環境づくりのため、働きかけを工夫することが望まれる。	苦情解決の仕組みを設置したのが最近であるためか、苦情等は余り寄せられてはいない。苦情や意見等を述べやすいようもっと工夫する必要があるのかもしれない。総合的に検討したい。
③利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	C	保護者からの苦情や意見、提案を受けた場合は迅速に対応しているが、具体的な手順は作成していないため、苦情受付簿やマニュアルの整備が求められる。	具体的な苦情処理について、マニュアルの作成をして具体的な手順を検討したい。

項 目	評価結果	優れている点・改善を求められる点	評価結果に対する事業者からの意見
2 サービスの質の確保			
(1) 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。			
①サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	b	第三者評価を受審するなどサービスの向上に意欲的であり、日々の保育サービスについても保育日誌等で評価し、改善につなげている。 今後も継続し、組織的にサービスの向上に取り組むことを期待したい。	今後も継続し、常に改善を行いさらなるサービス向上に努めたい。
②評価の結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にしている。	b	保育研修会を通じて保育に関する課題を明らかにしているが、評価結果の分析や検討課題の記録、課題の共有化など全職員が参加して組織全体で取り組み、サービスの向上につなげてほしい。	サービス向上に全職員が関わる仕組みづくりが必要ということだと思う。組織的に取り組む方法を具体的に検討していきたい。
③課題に対する改善策・改善計画を立て実施している。	b	保育に関する課題に対しては次年度の計画に反映させているが、職員間で十分に共有されていないため、職員参画のもとで検証、見直し、組織的に改善策を検討する仕組みづくりが求められる。	前項同様に、組織的に改善策を検討する仕組み作りを探りたい。
(2) 個々のサービスの標準的な実施方法が確立している。			
①個々のサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。	a	多様な保育場面において質の高い保育サービスを提供するため、標準的なサービス実施方法について文書化している。 また、指導計画との整合性や実施状況も確認しており、職員へも周知している。	現状を維持しながら、改善点がないか常に評価していきたい。
②標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	c	必要に応じて見直し、検証もしているが、定期的に見直す仕組みが確立していないため、組織的に見直す体制及び仕組みづくりが望まれる。	組織的な見直し体制や仕組みづくりを確立していきたい。

項 目	評価結果	優れている点・改善を求められる点	評価結果に対する事業者からの意見
(3) サービス実施の記録が適切に行われている。			
①利用者に関するサービス実施状況の記録が適切に行われている。	a	子ども一人ひとりの発達状況を具体的に記録し、指導計画に沿って実施している保育内容も詳細に記載しており、その内容を職員間で共有している。	今後も記録が適切に行われるよう努力していく。
②利用者に関する記録の管理体制が確立している。	c	個人情報保護や情報開示に関する理解はあるが、具体的な規程やマニュアルは整備していないため、情報開示や記録の保存、廃棄などに関する規程の整備が求められる。	個人情報保護に関する規程等の整備を検討し、記録等の管理体制を総合的に確立したい。
③利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	a	ケース会議は開催していないが、毎月開催している職員会議や職員研修会で情報の共有に努めている。 なお、会議録や記録の整備を徹底し、会議の内容を把握できるよう組織的な体制整備を期待したい。	今後も、利用者の状況等は十分注意を払いながら職員間の共有をはかり、記録の整備をさらに徹底していきたい。
3 サービスの開始・継続			
(1) サービス提供の開始が適切に行われている。			
①利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	a	行政ホームページによる情報公開や広報紙の全戸配布のほか、地域新聞への情報掲載、公共施設への広報紙設置など、不特定の方に対して広く情報提供に努めている。	園内掲示等を工夫するなど、さらに情報発信の方法があれば様々な情報提供をしていきたい。
②サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	b	保護者に対して「入園のしおり」でサービス開始に伴う内容を説明しているが、クラスごとの説明会において保護者からの同意を文書として残すための工夫が望まれる。	保護者からの同意は文書としてなかったので検討したい。

項 目	評価結果	優れている点・改善を求められる点	評価結果に対する事業者からの意見
(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。			
①事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	a	保育所の変更等については特に情報は提供していないが、保育の継続性を確保するため、必要に応じて相談に応じる体制をとっている。	情報提供は慎重に取り扱い、本人に確認するなどした上で、柔軟に対応していきたい。
4 サービス実施計画の策定			
(1) 利用者のアセスメントが行われている。			
①定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	a	入園前や入園後の情報収集を基に子どもの状況を把握し、児童票に記入して継続的に状態把握に努めている。 なお、定期的に見直すための手順が明確になっていないため、具体的なアセスメント手法を確立することが望まれる。	具体的なアセスメント手法の確立に努力したい。
②利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している。	a	児童票や指導計画に子ども一人ひとりのニーズや課題を明示し、職員間で共有しながら保育に反映させている。	今後も共有し反映させていきたい。
(2) 利用者に対するサービス実施計画が策定されている。			
①サービス実施計画を適切に策定している。	a	アセスメント等を踏まえて指導計画を作成しており、関係職員が協議のうえ、保護者の同意を得ながら園長及び主任保育士の指導・助言を得て作成している。	継続していきたい。
②定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。	a	定期的に指導計画を検証し、職員間で助言・指導を行いながら見直しており、行事等の見直しについては、保護者の意向も取り入れている。	継続し、常に見直していきたい。

◆ 細目の評価結果（内容評価34項目）

項 目	評価結果	優れている点・改善を求められる点	評価結果に対する事業者からの意見
1 子どもの発達援助			
(1) 発達援助の基本			
①保育計画が、保育の基本方針に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して作成されている。	b	保育の基本方針に基づいて保育計画を作成しているが、保護者の意向等も確認しながら計画に反映させるなど計画見直しの仕組みの検討が望まれる。	保護者へのアンケートなどを計画し、保育計画に反映させていきたい。
②指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき、指導計画を見直している。	b	指導計画を定期的に評価し、赤字で表示しているが、記録が不十分で指導計画に反映されていない部分があるため、指導計画の見直し方法を明確に構築することが望まれる。	常に見直しを行うような方策を考えたい。
(2) 健康管理・食事			
①登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。	a	園独自のマニュアルを作成し、子ども一人ひとりの平常時状態を踏まえて健康状態を把握したうえで保育中断などを判断しており、保護者には口頭や連絡帳などで知らせている。	引き続き健康管理には十分に気を配っていきたい。
②健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映されている。	a	健康診断の結果はプライバシーに配慮し、内容によっては封書で通知している。 また、配慮すべき事項があれば朝礼で職員間の共有を図り、職員会議でも全職員に周知している。	継続していきたい。
③歯科検診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映されている。	a	歯科検診の結果は、指摘された内容は封書で連絡し、プライバシーに配慮している。 また、確認事項があれば職員会議のほかクラス会議等で全職員に周知し、共有を図っている。	継続していきたい。

項 目	評価結果	優れている点・改善を求められる点	評価結果に対する事業者からの意見
④感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している。	a	<p>感染症対応マニュアルを作成し、全職員に配布して対応を周知しているほか、感染症の発生状況を朝礼時に職員へ周知し、玄関への掲示により保護者にも知らせている。</p> <p>また、子どもや保護者が特定されないようプライバシーにも配慮している。</p>	<p>今後も情報を共有し、速やかに対応していきたい。</p>
⑤食事を楽しむことができる工夫をしている。	a	<p>子どもたちが主体的に準備や配膳などの当番活動を行い、職員も一緒に楽しみながら食事している。</p> <p>また、子どもたちが育てた野菜を給食に使用したり、園外での食事やバイキングなど食事にも変化を持たせている。</p>	<p>独立したランチルームがあるなど設備にも恵まれており、総合的に食育を推進する中でさらに楽しい食事ができるような工夫をしていきたい。</p>
⑥子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている。	a	<p>調理員が食事状況を観察して子どもの喫食状況や嗜好を把握し、保護者の意向も参考にしながら献立を作成している。</p> <p>また、子どもの栄養バランスにも配慮しており、苦手なものを美味しく食べられるよう調理方法を工夫している。</p> <p>なお、手作りおやつを工夫しているが、献立表へのおやつメニューの掲載を検討してほしい。</p>	<p>引き続き、調理方法なども含め、職員の意見も反映させるなど更に工夫をしていきたい。</p>
⑦子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。	a	<p>試食会を実施したり、意向調査を行ないながら給食内容の改善に取り組んでいる。</p> <p>また、献立表や給食便りを毎月配布し、人気レシピの紹介や給食の情報を伝えている。</p> <p>なお、保護者が給食やおやつの状況を把握しやすいよう、写真やサンプル提示などの工夫が望まれる。</p>	<p>サンプル提示などを検討して実施したい。</p>
⑧アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行っている。	a	<p>アレルギーに関しては医師の診断書に基づき、保護者と連絡を取りながら献立内容を変更しているほか除去食を提供している。</p> <p>また、アレルギーへの対応については職員会議で情報を共有している。</p>	<p>引き続き、きめ細かい配慮を心がけたい。</p>

項 目	評価結果	優れている点・改善を求められる点	評価結果に対する事業者からの意見
(3) 保育環境			
①子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	b	園舎は新築5年目のため設備は新しく、清潔感が保たれ、子どもが伸び伸びと過ごせる保育環境を整えている。 なお、「安全チェックリスト」を作成しているが活用されておらず、午睡用布団の消毒や乾燥も不十分であるため、実施に向けた検討が望まれる。	安全チェックリストの活用を図り、より心地よい環境作りを目指して様々な方策を探りたい。
②生活の場に相応しい環境とする取り組みを行っている。	a	子どもの不安を取り除くよう職員は穏やかな声で話しかけ、保育室や園庭も広く、子どもがくつろげる関わりと保育スペースの確保に努めている。	恵まれた環境なので、十分に活用していきたい。
(4) 保育内容			
①子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている。	a	子ども一人ひとりの性格や特徴を理解し、そのうえで言葉遣いや態度、対応などに配慮することを園内研修等で周知しており、職員間で共通認識を図るよう努めている。	これまでの水準を引き続き維持し、日々向上のために職員の共通認識を図りながら、評価改善を心がけていきたい。
②基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している。	a	排泄時など子どもの羞恥心に配慮し、他の子どもから見えにくい場所で優しく支援するなど、子どもの気持ちや生活リズムを尊重した保育に努めている。	継続し更に充実していきたい。
③子どもが自発的に活動できる環境が整備されている。	a	子どもの年齢や発達に応じた玩具を用意したり、静かな場所で絵本を読めるよう専用の部屋を整備しているほか、ダンボールの利用など自由な発想で遊べる環境づくりに努めている。	継続し更に充実していきたい。
④身近な自然や社会と関われるような取り組みがなされている。	a	草花や木の実を保育室に飾り、野菜を栽培するなどして自然と関わる機会を設けている。 また、地域の朝市や福祉施設のほか、電車を利用しての遠足など、身近な社会と関わる取り組みを工夫している。	継続し更に充実していきたい。

項 目	評価結果	優れている点・改善を求められる点	評価結果に対する事業者からの意見
⑤さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている。	a	子どもが自由に歌い、踊るなどの身体表現のほか、粘土やダンボール、クレヨン、色紙など様々な素材を活用した制作活動などの表現活動に積極的に関わり、体験できるよう配慮している。	継続し更に充実していきたい。
⑥遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している。	a	物の取り合いの場面などには子供同士で解決できるよう保育士が関わっている。 また、異年齢児との交流や給食当番などの役割を果たすことや、園庭等での遊びの中で順番や約束を守るなどルールを理解できるよう工夫し、子どもの気持ちを受け入れながら子供同士の関係づくりに努めている。	継続し更に充実していきたい。
⑦子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てよう配慮している。	a	子ども一人ひとりを尊重する関わりを基本としており、名前を呼び捨てすることなく接している。 また、外国の文化や考え方が異なることを理解し、子供同士がそれぞれの違いに気づけるよう取り組みを工夫し、そのことを尊重する気持ちが育つよう心がけている。	継続し更に充実していきたい。
⑧性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している。	a	配置順や用具などの配色、遊びの種類などから男女を区別することなく、当番活動や遊びも子どもの気持ちを優先させており、先入観や固定観念による関わりがないよう心がけている。	全職員が共通認識を持ち対応するよう、再度確認していきたい。
⑨乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	a	園全体が明るく清潔感があり、乳児保育の環境を整えており、離乳食や睡眠など一人ひとりの状況に配慮し、保護者と連携しながら保育している。 また、乳児との触れあいやゆったりした声かけ、SIDSの確認など個別指導計画に基づいて支援している。	継続し更に充実していきたい。

項 目	評価結果	優れている点・改善を求められる点	評価結果に対する事業者からの意見
⑩長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	a	保育室の一部に畳を敷き、子どもがゆったりと思い思いの遊びができる環境づくりを工夫している。 なお、職員間の引継ぎは口頭のみであるため、保育サービスの標準化に向けて引継ぎ方法の検討が望まれる。	保育サービスの更なる向上のため、具体的な引継ぎ方法を検討したい。
⑪障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	b	園独自で障害児保育を実施しており、子どもの状態を把握し、個別指導計画や保護者の意向に基づき、関係機関と連携しながら自然な形で子供同士が関わられるよう配慮している。 なお、障害児保育に関する知識・技術の研鑽とともに、定期的なケース検討会の開催が望まれる。	現在、日本保育協会による障害児保育研修を受講した者が1名のみのため、計画的に受講させていきたいと考えている。また園内研修会等でケース検討会を設け全保育士の共通認識も図りたい。
2 子育て支援			
(1) 入所児童の保護者の育児支援			
①一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行っている。	a	送迎時に保護者と話し、連絡帳でも日常的に情報交換しているほか、保護者との個人面談を行い、園での生活や子育てに関して話し合いを行っている。	今後も日常的な情報交換を大事にして、十分な連携をしていきたい。
②家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている。	a	連絡帳でのやり取りや個人面談での話し合いの結果のほか、家庭状況に関して必要により児童票に記載しており、職員間で共通認識をもてるよう配慮している。	記録をきちんとするよう更に努力していきたい。
③子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている。	b	保育参観や保護者との懇談会は設けているが、保育参加は行っていないため、今後は保護者が保育に参加する機会を設け、終了後に懇談会を開催するなど取り組みを工夫してほしい。	保護者会とも連携し、保育参加の機会や方法を検討してみたい。
④虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報を速やかに所長までに届く体制になっている。	a	虐待対応マニュアルを作成し、全職員に配布して対応を周知しており、虐待情報に関しては主任保育士及び園長に報告する仕組みを整えている。	これまでそのようなケースがなかったため、マニュアルどおりでよいのか留意していきたい。

項 目	評価結果	優れている点・改善を求められる点	評価結果に対する事業者からの意見
⑤虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている。	a	児童相談所や行政担当課など関係機関の電話番号を事務室や保育室に掲示しており、マニュアルに沿って関係機関に連絡、照会、通告する体制を整備している。	前項に同じ。
(2) 一時保育			
①一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている。	a	管理規程を整備して園独自で一時保育事業を実施しており、通常保育の子どもたちと一緒に保育室で双方の子どもが遊べるよう保育環境にも配慮している。	引き続き広報等で周知を図りながら、より柔軟な対応ができるようにしていきたい。
3 安全・事故防止			
(1) 安全・事故防止			
①調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている。	a	衛生管理マニュアルに基づき、栄養士担当や調理担当職員が調理場などの水周り部分をチェックし、園長が確認して清潔の保持に努めている。	引き続き、清潔の保持に努めていきたい。
②食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知されている。	a	食中毒に関するマニュアルを整備し、それに基づいて全職員で対応を確認しており、検食簿や家族への情報提供など発生時の原因把握と対応を徹底している。	様々なケースに対応できるよう、マニュアルの見直しも適宜行って万全を期したい。
③事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取り組みを行っている。	b	園庭固定遊具の点検は幼稚園と併せてチェックし、ヒヤリハット事例も収集して安全の確保に努めているが、事故対応マニュアルにある安全チェックリストの活用が不十分であるため、職員の当番制で定期的に危険がないかチェックするなど、組織的な取り組みが求められる。	チェックリストを活用し、定期的、組織的な取り組みをしていきたい。また、チェックリストも使いやすいようにするため見直してみたい。

項 目	評価結果	優れている点・改善を求められる点	評価結果に対する事業者からの意見
④事故や災害の発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。	a	<p>事故対応の手引きに基づき、職員会議や保育研修会などで対応を確認しており、防災計画に基づいて避難訓練を実施するなど非常事態に備えている。</p> <p>なお、事故対応の手引きは即応性のマニュアルとしては使いづらいため、簡潔でより実践的なマニュアルとしての見直しが望まれる。</p>	<p>フロー図やチャート式にするなど、緊急時にもすぐ見て分かるような工夫をしたい。</p>
⑤不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。	a	<p>園内に防犯カメラを設置し、事務室で園内の状況を確認でき、園児にも不審者への対応を話している。</p> <p>また、年1回は警察署と不審者進入訓練会を行い、マニュアルに基づき全職員で対応方法を確認している。</p>	<p>引き続き、警察署の指導を仰ぎながら対応方法等について全職員で確認することを継続していきたい。</p>